

玉川上水・野の花だより No. 3 3

オミナエシ 盛夏を乗り切ったたくましい秋の七草

中央大学研究開発機構・機構客員教授 東京大学名誉教授

石川 幹子

2026 年 9 月 1 日

例年になく、猛暑日が続いた夏でした。

照り返しの強い笹塚緑道の「南ドンドン橋」のたもとで、背筋を、ずっと伸ばし、気高い風情のオミナエシ (*Patrinia scabiosifolia*) が咲いています。

オミナエシ科の多年草で、日本全国の日当たりのよい山野に生える野の花です。草丈は 1m ほどで、茎上部で分枝し、3~4mm 程の黄色い花をたくさんつけます。花冠は 5 裂し、次々に咲いていきます。

写真 1 は、オミナエシが咲き始めた頃、7 月 25 日の写真です。小さなつぼみがふくらみはじめ、一つ、二つと開花しています。過酷な暑さにもめげず、盛夏を乗り切った姿が、写真 2 です。まだまだ、たくさんの花が咲いていきます (9 月 1 日 撮影)。



写真 1 オミナエシ 7 月 25 日

オミナエシは秋の七草として、古くから日本人が愛してきた野の花です。楚々とした風情の中に、秘めたる「たおやかさ」があります。



写真 2 オミナエシ 笹塚緑道 2026 年 9 月 1 日